

科目名	インテリアデザイン実習3							年度	2026
英語科目名	Interior Design Course 3							学期	前期
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 3年次	必/選	選	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	高城良之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリアデザイナー		
【科目の目的】 最終年次にふさわしいボリュームと内容のデザインの課題を通じて、インテリア空間におけるコンセプト立案やスケッチ、作図、表現力まで総合的に習得する。									
【科目の概要】 住宅や店舗などデザインの知識と技術を学び、作品を制作します。									
【到達目標】 インプットした情報・知識・感動や感銘を用いながら試行錯誤を繰り返し、頭の中だけの世界から手や身体を使ったリアルなデザイン表現を試みる。実験や試作の山を築く。そして同じテーマで取り組んだ他の学生のデザインを理解、尊重し自身に無かった価値観として受け入れる。									
【授業の注意点】 デザイン行為のみならず、コミュニケーション能力を養う為に、基本は教員/講師と学生の一对一での対話を欠かさずに進める。また中間でプレゼンテーションを設け実践形式を体験する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	要望に応える制作技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、丁寧に制作している	要望に応える制作技術を理解し、制作している	要望に応える制作技術を理解しているが、形として不十分	要望に応える制作技術の理解が不足している				
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分				
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチや内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証、修正ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の修正が不十分	アイデア、デザイン内容の検証、修正が不十分				
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題技術40% 課題の表現技術を総合的に評価する。 課題内容40% 課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する。 プレゼンテーション10% 課題の発表技術、内容について評価する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インテリアデザイン実習 3			年度	2026
英語表記		Interior Design Course 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	卒業制作への流れを理解する	1 授業の流れについて	授業の流れについて理解することができる	2	
			2 フィールドワークの目標	フィールドワークの目標を立てることができる		
2	卒業制作のテーマ探索	テーマを検討する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
3	フィールドワーク計画の立案	調査対象地や施設の選定とアポイントの取り方を学ぶ	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
4	フィールドワーク実践 (1)	現地での観察や体験を通じて空間の特性を把握する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
5	フィールドワーク実践 (2)	現地での観察や体験を通じて空間の特性を把握する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
6	フィールドワーク実践 (3)	現地での観察や体験を通じて空間の特性を把握する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
7	中間エスキース (教員個別指導)	調査の進捗と抽出した課題の妥当性を確認する	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		
8	フィールドワーク実践 (4)	現地での観察や体験を通じて空間の特性を把握する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
9	フィールドワーク実践 (5)	現地での観察や体験を通じて空間の特性を把握する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
10	フィールドワーク実践 (6)	不足情報の補足や、より詳細な実測・ヒアリングを行う	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
11	フィールドワーク実践 (7)	不足情報の補足や、より詳細な実測・ヒアリングを行う	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
12	フィールドワーク実践 (8)	調査・分析から導き出された解決策を言葉と形に変換する	1 情報収集	テーマに関する情報を収集できる	2	
			2 フィールドワークの計画	フィールドワークの計画を立てることができる		
13	プレゼンテーション資料の構成	調査のプロセスと結論を伝えるための構成を練る	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		
14	最終エスキース (教員個別指導)	プレゼン前の最終確認と卒業制作への接続を確認する	1 ビジュアル作成	アイデアをもとにCGやパースを作成することができる	2	
			2 プレゼンボード作成	作成したビジュアルを使いプレゼンボードを作成することができる		
15	調査成果発表 (プレゼン)	収集・分析した情報を発表し、卒業制作への着手承認を得る	1 プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
			2 提出	期限内に提出する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等